

はじめよう/ ジブン専用パソコン

第27回 スクラッチでしゃべる翻訳機をつくろう

世界にはいろいろな言葉を話す人がいる。だから、英語を使っているアメリカ人と会話をするときは、自分が英語で話すか、相手が日本語で話す必要があった。ところが最近、深層学習という技術を使った機械翻訳が実用的なレベルまで進化してきたんだ。じゃあ、もう英語を勉強しなくてよくなるのかな？ スクラッチ3.0の翻訳機能を使って確かめてみよう。

ゲーム 工作 プログラミング ラズベリーパイ Raspberry Pi 大活用



今回の内容は、ジブン専用パソコンだけでなく、スクラッチ3.0が動くパソコンでもできるよ。

キットの情報は
KoKa Shop!へ
定期購読者特典割引あり

購入ページ



監修・原案／青山学院大学大学院 特任教授 阿部和広
構成・文／塩野祐樹

ジブン専用パソコン特設サイト
prog.kodomonokagaku.com/jibun

スクラッチ3.0の起動

まずはスクラッチ3.0を起動しよう。いつものようにブラウザ（クロミウム）を立ち上げたら、スクラッチのサイト（scratch.mit.edu）にアクセスする。このアドレスは何度も使うから、検索窓の右にある「☆」をクリックして、ブックマークしておくといいかもね。

アカウントを持っている人は、右上の「サインイン」をクリックして、サインインしよう。左上の「作る」をクリックすると、スクラッチ3.0のエディターが起動するよ。



起動の詳しい手順やアカウントの作り方は、スタプロの特設サイト（prog.kodomonokagaku.com/scratch3/）を参考にしよう。

拡張機能を読み込もう

エディターを起動した直後は、翻訳のブロックは表示されていない。拡張機能を読み込むと使えるようになるんだ。画面左下にある、ブロックのイラ



「協力 Google」と書いてあるように、この機能はGoogleの技術を使ったものなんだ。



②「翻訳」をクリック

①左下のアイコンをクリック